

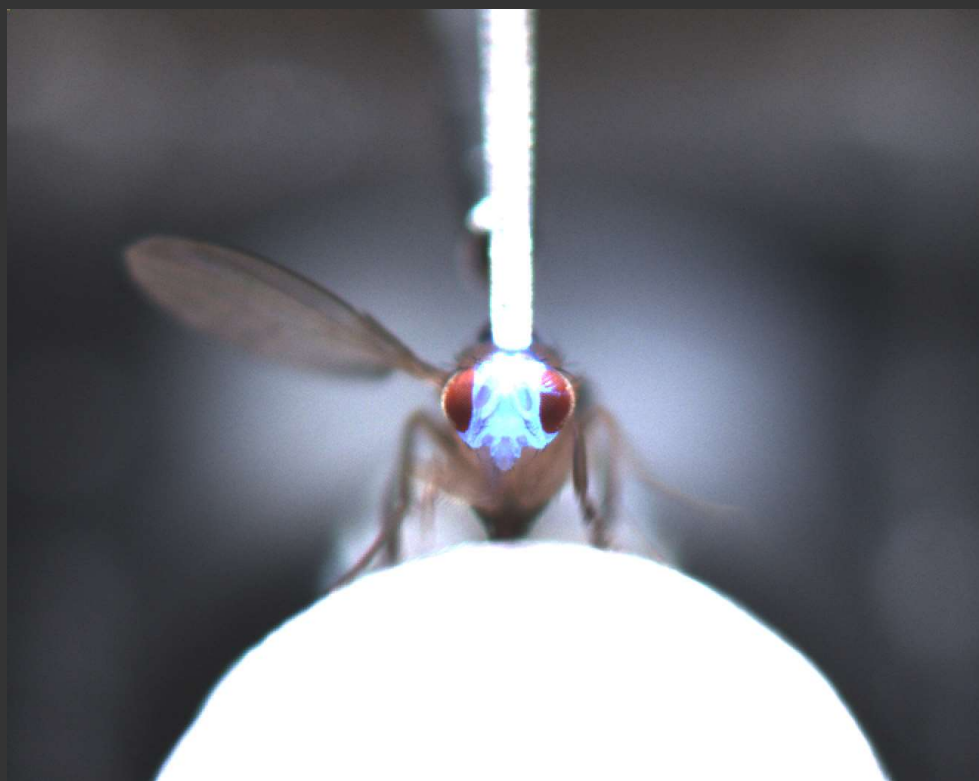
ショウジョウバエ雄における 求愛行動の制御メカニズムとその神経基盤

国立研究開発法人情報通信研究機構

古波津 創 博士(Dr. Soh KOHATSU)



動物の神経系が外界からの情報に基づいて複数のレパートリーから適切な行動を選択・実行するメカニズムの解明は、神経行動学における主要課題の一つである。キイロショウジョウバエ雄の求愛行動は雌に対する「定位」や片翅を振動させて求愛歌を発する「シンギング」、前肢で雌の腹部に触れる「タッピング」といった、複数の要素的な行動からなる。それらの協調的な発現を支える神経機構の解明に向け、我々は人工視覚刺激や光遺伝学を用いた行動解析、in vivo機能イメージングを主な手法として研究してきた。本セミナーでは雄の求愛開始をトリガーする「P1ニューロン」の同定に至る我々の取り組みと、現在進めている、求愛開始後の行動選択に関与する視覚系ニューロンの探索について紹介する。



光遺伝学によって求愛行動を誘導されたショウジョウバエ雄

2022年1月11日(火) 14:30-16:00 E131 (対面開催予定)

連絡先: 石川 由希 (ishikawa.yuki@i.mbox.nagoya-u.ac.jp)